

信友会歴史 四

大正七年一月神戶南關俱樂部は流  
工總會同友会大會を關の從員の改  
選を行ふに新幹部の如し  
野重長 伊藤常次郎 野重長 岡野  
大村清 茂 藤村 水沼辰夫 許谷本堂  
庶務部長 藤正始

其後信友会は益隆盛に向ふ三日は  
一般役員力の保證會を算り機集  
政信友会も新南風流に振つて飛行  
するに至つた

同年八月東京米騒動の起るに際  
は何等關係なき信友会役員も概同  
様憂鬱留置場は糧禁なり或は場所  
出勤の途甲或は工場勤務甲甚だ  
之は自死に於て食事中の少年  
も不徳の幾多ありして引致しな  
者もある

おのゝ会員の多教休恐怖と誤解  
と以後之續々既去し残つた元  
歐文王のみといふ毎會あり有極と  
同年十月二十日神戶松本亭に開いた  
才三回大團は存て改選之札は幹事  
諸職任之北は極宜慮の壓迫は利  
がわつた故に止むを得ず強豪と  
大正七年一月神戶南關俱樂部は流